

ソーシャルワーク・アクション・ネットワーク-インターナショナル (SWAN-I) :
ウクライナへの侵攻と戦争に関する声明

2022年3月15日

ウクライナでの戦争に関連して、SWAN-I が合意した声明を以下に表明する。

1. 国際的なソーシャルワーク組織として、ソーシャルワーク・アクション・ネットワーク (SWAN-I) は、今、家や街が破壊され、生命の危機に瀕するウクライナの一般男性、女性、子どもたちと全面的に連帯する。
2. 私たちは、ロシアのウクライナへの侵攻に反対し、糾弾する。私たちは、即時停戦と、すべてのロシア軍がウクライナから即時撤退することを要求する。
3. 私たちは、ロシアにおいて、警察の弾圧にもかかわらず、侵略に反対する抗議を行った人々に連帯する。私たちは、ロシア軍兵士を含む大規模な反戦運動の構築を支持する。
4. この戦争は非常に危険な展開である。紛争が拡大・エスカレートすることにより、増大する国際紛争に諸国を巻き込み、最悪の場合、化学兵器やさらには核兵器の配備に至るかもしれない危険性があるのだ。
5. この戦争は、NATO の中・東ヨーロッパへの拡張によって誘発された、ロシアと NATO の代理戦争でもある。私たちは、この拡張と NATO 軍によるこの紛争への介入に反対する。私たちは、侵略や戦争によってイラクやアフガニスタンそしてその他の国々で、大虐殺を引き起こした NATO やその主たる支援国であるアメリカを世界平和と安全保障のための力とは考えない。
6. この戦争は、何百万人もの人々がウクライナからの脱出を余儀なくされた第二次世界大戦以来ヨーロッパで最大の難民危機を生み出している。私たちは彼らを心から受け入れ、各国政府に対してビザ要件の免除を含む官僚的な入国条件の解除を要求すべきである。しかし、この受け入れは、アフガニスタン、イラク、リビア、イエメンなどの紛争から逃れてきた人々にも向けられるべきである。「正しい」民族性や肌の色が、戦争や貧困、迫害から逃れてきた人々への人道的対応の基準であってはならない。私たちは、ウクライナに住むアフリカ人が戦争から避難しようとしているときに、国境で人種差別が行われたという報告を遺憾に思う。

7. 最後に、私たちは、ウクライナとロシア両国のソーシャルワークの仲間に関連を表明する。私たちは、ウクライナと国境を接する国々の仲間たちが、戦争から逃れてきた人々に実際的な人道的支援を提供しようと現在行っている努力を認識しており、これを称賛する。他の国々のソーシャルワーカーとその組織も、ウクライナと世界の他の地域からの難民を支援するために、その知識、技術、専門的経験をどのように活用できるか、緊急に検討する必要がある。しかし、私たちはさらに前進しなければならない。ソーシャルワークの専門職には、戦争とそれがもたらす破壊に反対するという誇り高い伝統がある。私たちはその伝統を引き継ぎ、さらに発展させる必要がある。
8. 第一に、これはロシアであれ西側諸国であれ、戦争を利用して、戦争に反対する人々の言論と報道の自由を制限しようとする政府の試みに反対することを意味する。第二に、私たちは、物価上昇や医療・社会保障サービスの削減などを通じて、労働者階級の人々に戦争費用を負担させようとするあらゆる企てに反対するべきである。最後に、私たちは、労働組合とソーシャルワーク専門職の組織が、さらなる死と破壊をもたらすだけの、このようなエスカレーションに反対する明確な立場を取ること、またウクライナ、ロシア、そして西側の労働者を団結させるより広い反戦運動への参加を提唱することによって、戦争のいかなるエスカレーションにも反対しなければならない。第一次世界大戦前夜の1914年、アメリカの代表的なソーシャルワーカーであるリリアン・ウォルド (Lillian Wald) は、次のような言葉を残している。「最も広い概念において、ソーシャルワークは人命の尊厳と人類愛の原則を教えている…。私たちの時代のソーシャルワーカーは偉大な夢、民主主義と人間の間にある真の人類愛という大きな夢を持っているのだ…しかし戦争は、何年もかけて築き上げたすべてのものを破滅させるものである」

(日本語訳：中野加奈子)